



2025年1月16日
記者会見別紙資料

文献データベースワーキンググループ 活動報告

一般社団法人ワクチン問題研究会
代表理事

福島 雅典

<https://jsvrc.jp>

COVID-19ワクチンの副作用

日本における学会発表と世界における論文報告の現状:2023年末時点

論 説

Clin Eval 51 (3) 2024

COVID-19ワクチンの副作用： 日本における学会発表と世界における 論文報告の現状*

小西菜普子¹⁾ 平井由里子²⁾ 彦田 裕司²⁾ 宮原 聡子³⁾ 藤沢 明德⁴⁾
本橋 秀之⁵⁾ 上田 潤⁶⁾ 井上 正康⁷⁾ 福島 雅典⁸⁾

- 1) 大阪公立大学 医学部
- 2) 株式会社MCL
- 3) なでしこ光クリニック
- 4) 医療法人社団心 ほんべつ循環器内科クリニック
- 5) 東京医科大学病院 疾患モデル研究センター
- 6) 旭川医科大学 医学部医学科 先端医科学講座
- 7) 健康科学研究所 現代適塾
- 8) 一般財団法人 LHS 研究所

Side effects of COVID-19 vaccines:
Academic reports presented at medical conferences
in Japan and a PubMed Survey

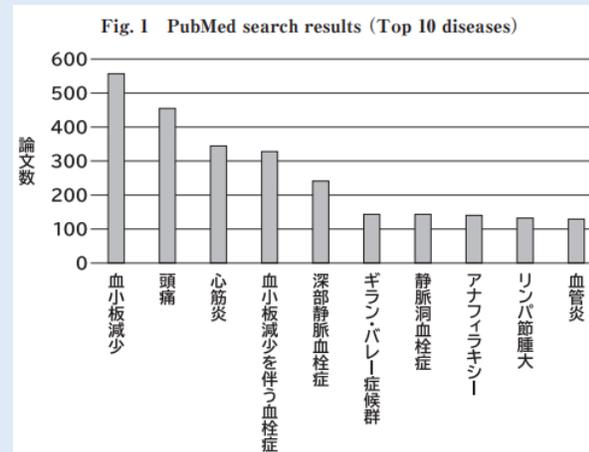
http://cont.o.oo7.jp/51_3/p479-521.pdf



COVID-19ワクチン副作用として
日本の医学会で報告された疾患名でPubMedを検索
(開催学会数134学会, 演題数447題)



総ヒット件数:3071報
→ 上位10疾患は以下の通り



内, 総説論文:95報
→ 原著ならびに翻訳版を
以下のサイトで公開

レビュー論文一覧

100件 件表示

No.	疾患分類	オリジナル (英語)	MedTRANS™による日本語訳	掲載誌	出版年	筆頭著者
1	心血管疾患	A review of COVID-19 vaccination and the reported cardiac manifestations	COVID-19ワクチン接種と報告されている心臓の症状に関するレビュー	Singapore Medical Journal	2023	Ho, Jamie Sin Ying
2	心血管疾患	Adverse events following COVID-19 mRNA vaccines: A systematic review of cardiovascular complication, thrombosis and thrombocytopenia	COVID-19 mRNAワクチン接種後に発生した心血管系合併症、血栓症、および血小板減少症に関するシステムティックレビュー	Immunity, Inflammation and Disease	2023	Vasmin, Farah
3	心血管疾患	Cardiac adverse reactions of COVID-19 vaccination: cardiac MRI findings	COVID-19ワクチン接種による心臓の有害反応のMRI所見	Radiologie (Heidelberg, Germany)	2022	Kravchenko, Dmitriy
4	心血管疾患	Cardiovascular complications of COVID-19 vaccines: A review of case-report and case-series studies	COVID-19ワクチンの心血管系合併症の症例報告および症例集積研究のレビュー	Heart & Lung	2023	Paknahad, Mohammad Hossein

<http://www.mcl-corp.jp/meditrans/review-articles/>



COVID-19ワクチンの副作用

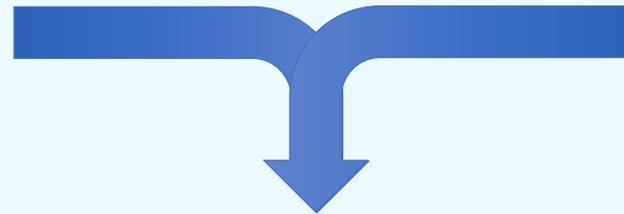
その後に発表された文献:2024年6月～現在

前述の論文発表時点以降, 2024年6月より同じカテゴリにて文献をPubMedより収集

文献増加分 計834報

カテゴリ	202506以降の文献増加数
血液の病気	104
心臓の病気	100
神経の病気	80
血管の病気	72
皮膚の病気	58
全身の病気	50
脳の病気	50
眼の病気	47
肺の病気	44
腎臓の病気	25
甲状腺の病気	23
肝臓の病気	20
リンパ節・リンパ腫	17
糖尿病	4
副腎の病気	4
消化管の病気	2
その他	134
計	834

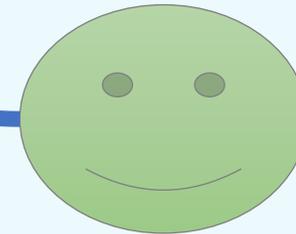
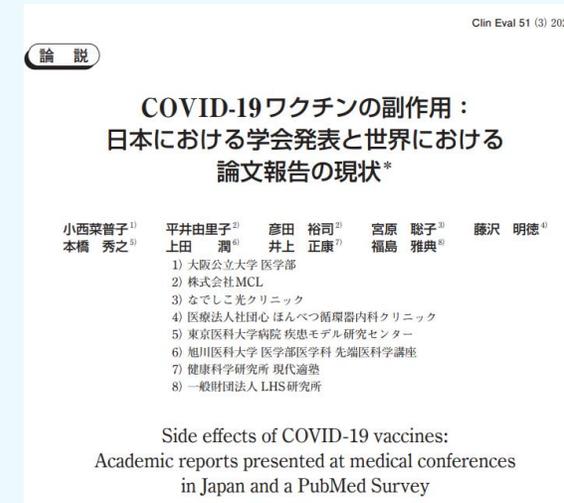
前述の論文で取りまとめた計3071報



zotero 文献管理用プラットフォーム



MediTRANS 医学翻訳特化型AI翻訳



誰でも閲覧可能(事前登録制)
→ 登録は[こちら](#)



論文翻訳作成プラットフォーム: MediTRANS[®]プラス

MediTRANS[®]は国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が開発した自動翻訳エンジンに、正確に訳出された医学対訳データを大量に学習させた医学系コンテンツ特化型翻訳エンジン

この翻訳エンジンと生成AIとの連携を可能とした論文作成プラットフォーム「MediTRANS[®]プラス」を近日リリースいたします。



お問い合わせは[こちら](#)

【お知らせ】2025/1/10 Webサイトの更新を実施いたしました。更新内容はリリースノートのページをご覧ください。

MediTRANS

原文 (Ctrl+Enterで翻訳)

訳文ワークエリア (Ctrl+Enterで逆翻訳)

ここに翻訳したい文章を入力

ここで訳文を編集します。

汎用 医療教育系 DeepL

文章を区切って翻訳 である調 (和訳時)

言語方向: 自動判定 英→日 日→英

和訳時の句読点: 半角ピリオド、カンマ 全角ピリオド、カンマ 全角句点、読点

翻訳 原文をコピー

追記モード 逆翻訳 対訳集に保存 訳文をコピー

逆翻訳文

機械翻訳文

対訳集検索 PubMed検索

生成AIに聞いてみる 汎 医 D 原文 訳文 をプロンプトに含める

履歴から選択

生成AIへの指示を入力

送信 履歴管理



2025年1月16日
記者会見別紙資料

PVS（ワクチン接種後症候群）レジストリ臨床研究の 結果報告

一般社団法人ワクチン問題研究会
業務執行理事

藤沢 明德

<https://jsvrc.jp>

PVSレジストリ臨床研究の経過

日にち	アクション
2023年11月29日	浜松医科大学生命科学・医学系研究倫理委員会の承認を取得
2023年12月1日～ 2024年3月18日	ICF（同意書）の取得、EDC（データベース）へデータ入力
2024年2月9日	大学病院医療情報ネットワークセンターへ登録 (UMIN試験ID：UMIN000053578)
～2025年3月	PVSデータベースの統計解析、第一報論文を投稿

PVS疾病登録レジストリ臨床研究の結果概要

研究課題 : **新型コロナウイルスワクチン接種後症候群
患者レジストリの構築と実態調査**

研究計画書番号 : **JSVRC2023-01**

UMIN試験ID : **UMIN000053578**

<https://center6.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr.cgi?function=brows&action=brows&recptno=R000061139&type=summary&language=J>



共同研究機関 : **15施設 (16人の共同研究者)**

登録症例数 : **279症例**

【PVSデータベースワーキンググループのまとめ】

- “PVS（ワクチン接種後症候群）” について、疾患データベース（PVSレジストリ）構築の事業を完了
(最終登録症例数：279症例)
- 「診断基準」および「診療ガイドライン」作成に向け、基礎となる臨床研究が完了した
- 統計解析、第一報論文の初稿が完成
3月末までの投稿を目指し、論文のブラッシュアップを進めている。



2025年1月16日
記者会見別紙資料

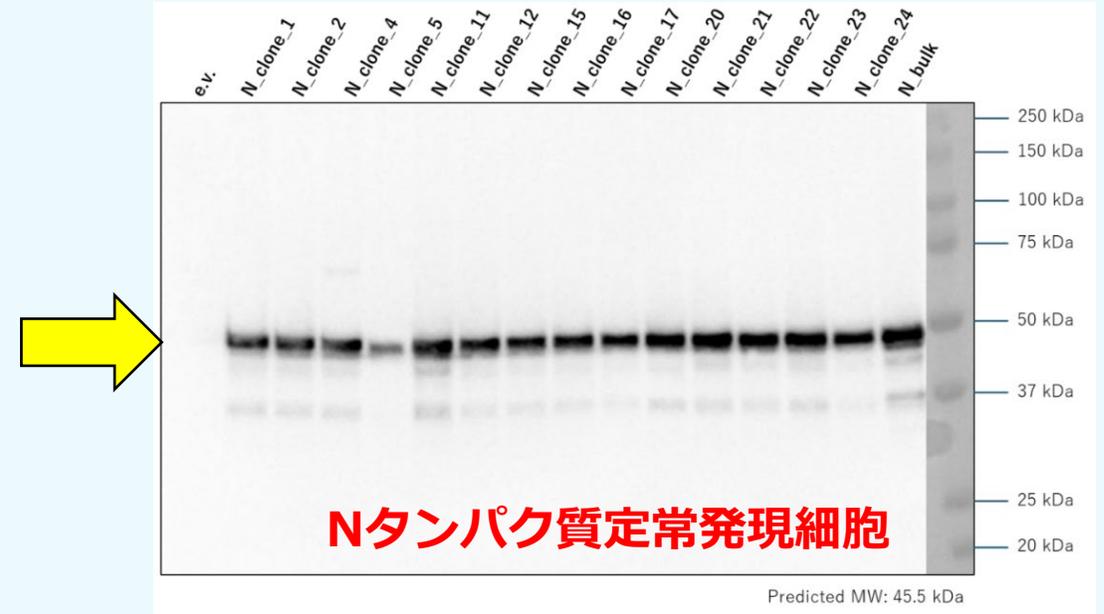
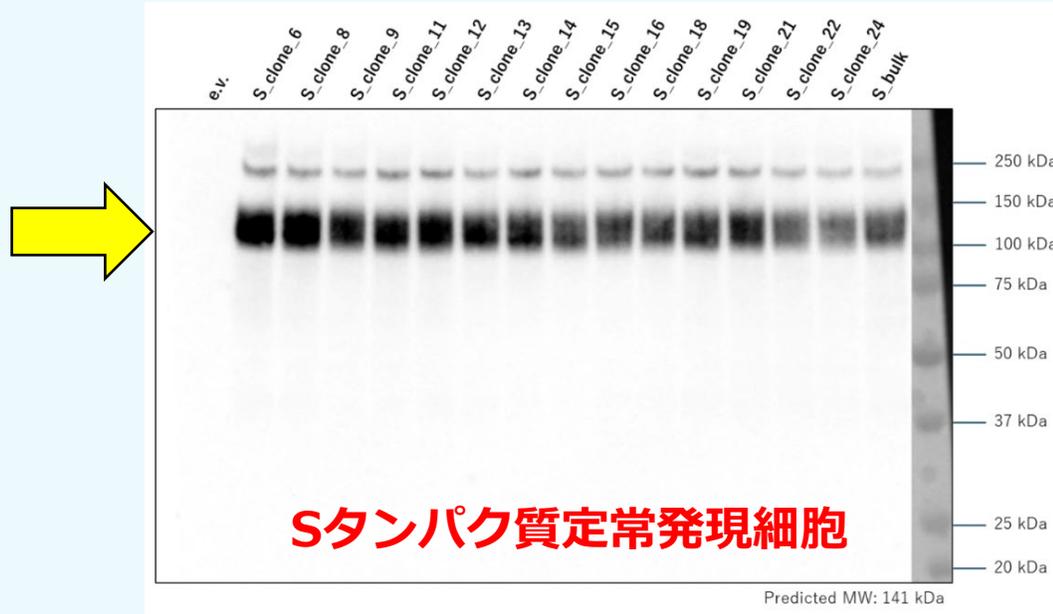
検査法開発ワーキンググループ 活動報告

一般社団法人ワクチン問題研究会
正会員

上田 潤

<https://jsvrc.jp>

SARS-CoV-2（武漢株）のSタンパク質またはNタンパク質を定常発現した細胞を樹立した



	陰性	ワクチン接種後症候群 (PVS) の疑い	新型コロナウイルス後遺症 (Long-COVID) の疑い
Sタンパク質	×	○	○
Nタンパク質	×	×	○
内部標準	○	○	○

Sタンパク質とNタンパク質の定常発現細胞は検査時の陽性コントロールとなる。

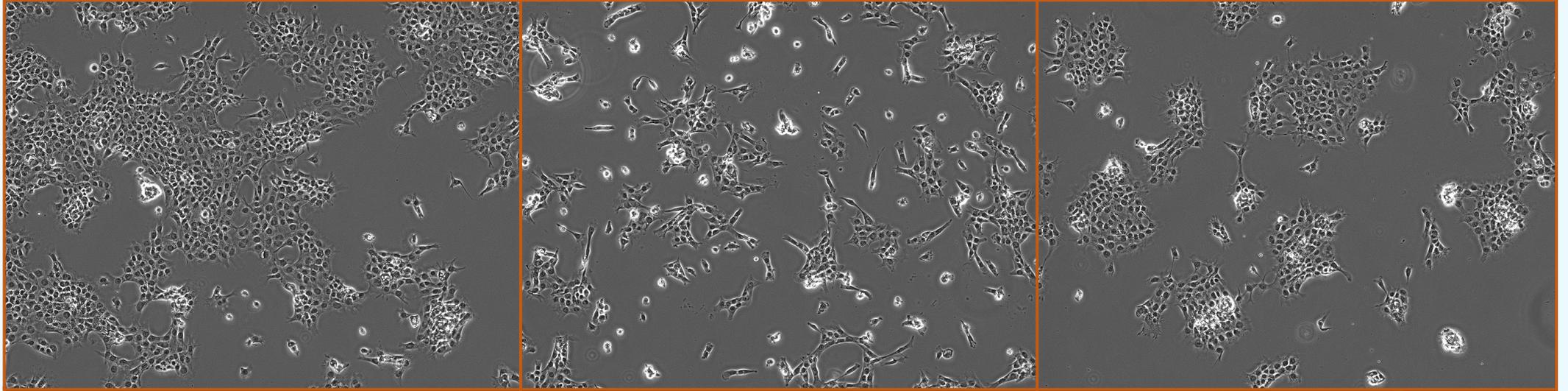
Sタンパク質の免疫染色

親株 (コントロール)

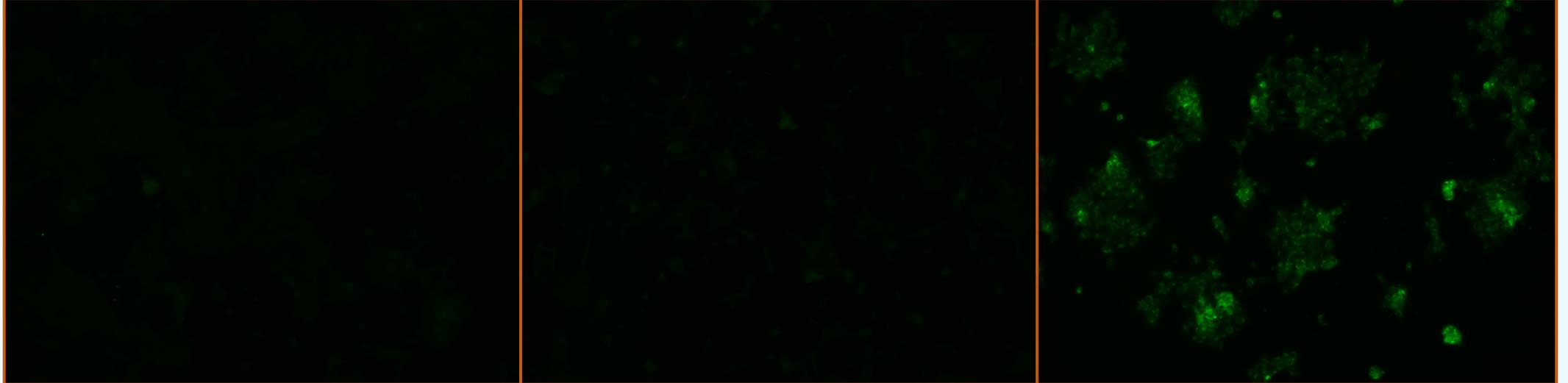
Nタンパク質発現細胞

Sタンパク質発現細胞

明視野像



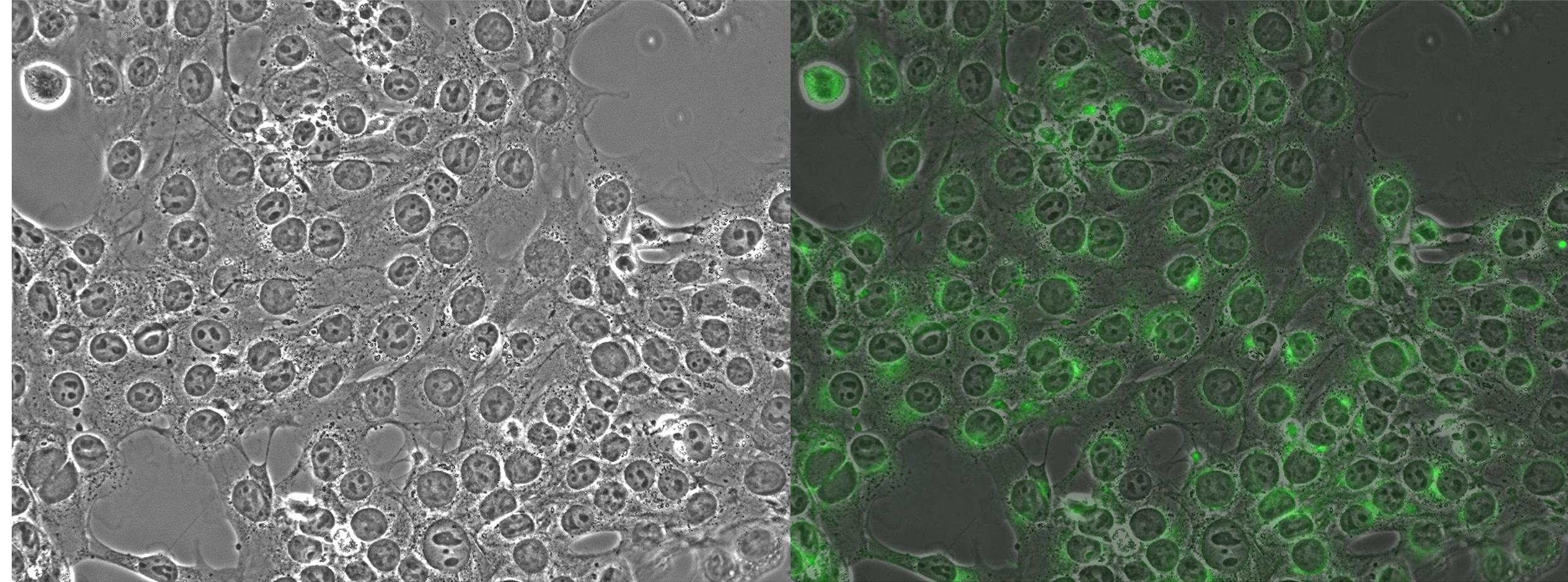
抗Sタンパク質抗体



Sタンパク質の免疫染色

明視野像（位相差）

Sタンパク質（緑色）



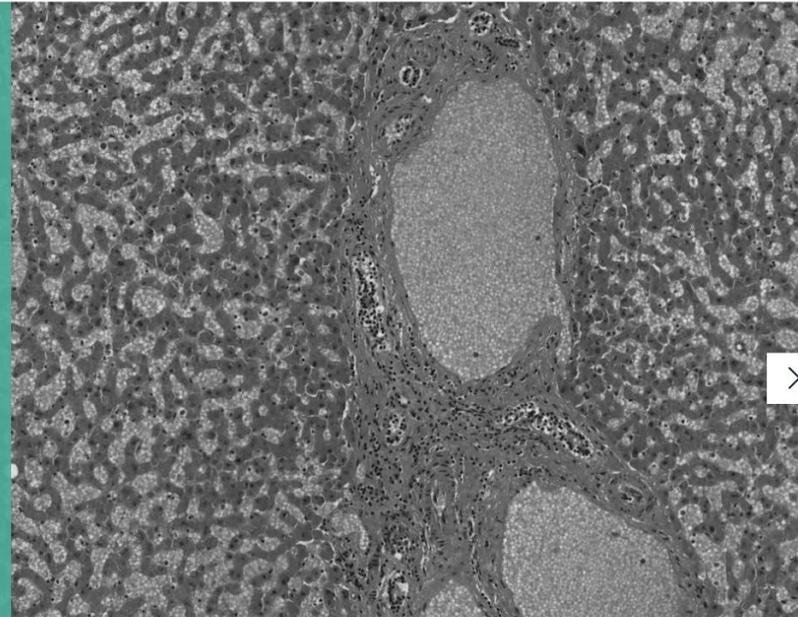
今後、これらの細胞を用いて、腫瘍切片等での免疫染色の条件決めを行う。

【他国の状況】 Sタンパク質などを検査する会社がドイツで立ち上がった

The laboratory

Customer-oriented solutions, scientifically standardised and innovative techniques.

About us —



Price list

Service	Price (net) non-binding
Detection of spike proteins (vaccination and virus) and nucleocapsid proteins (virus) with controls in tissue/biopsies and in immune cells (IHC staining)	450 – 800 € (few tissues), 1500 – 2000 € (many tissues), complete collection of evidence by arrangement
Detection of spike protein mRNA (differentiation between vaccination and virus) with controls in tissue/biopsies and in immune cells (FISH staining)	950 – 1200 € (1-2 samples), for larger quantities by arrangement
Detection of spike protein mRNA (differentiation between vaccination and virus) with controls in tissue/biopsies and in immune cells (PCR)	100 – 200 €
Detection of spike protein mRNA (differentiation between vaccination and virus) with controls in blood or cerebrospinal fluid (PCR)	100 – 200 €
Determination of the total amount of spike proteins in plasma and immune cells (combined) or cell-free cerebrospinal fluid and cerebrospinal fluid cells (combined) (vaccine-specific; does not detect spike proteins from an infection), highly sensitive (95fg/ml; 100 – 1000 times more sensitive than all other products and unique on the market)	450 – 500 €
Determination of the total amount of spike proteins from unfixed tissues and biopsies (vaccine-specific, does not detect spike proteins from an infection), highly sensitive (95fg/ml; 100 – 1000 times more sensitive than all other products and unique on the market)	400 – 500 €
Determination of the total amount of spike proteins in exosomes from the blood (vaccine-specific, does not detect spike proteins from an infection), highly sensitive (95fg/ml; 100 – 1000 times more sensitive than all other products and unique on the market)	500 – 600 €
Mass spectroscopy sequencing of spike proteins (vaccination vs infection)	on request

<https://inmodia.de/en/prices/#top>



<https://inmodia.de/en/>





2025年1月16日
記者会見別紙資料

治療法確立ワーキンググループ 活動報告

一般社団法人ワクチン問題研究会
理事

吉野 真人

<https://jsvrc.jp>

新型コロナウイルス感染後急性後遺症もしくは
コロナワクチン接種後に発症した
筋痛性脳脊髄炎・慢性疲労症候群
(ME/CFS) の症例に対する
ビタミンD補充療養指導のランダム化比較試験

現在臨床試験を行っております



COVID-19 ワクチン接種後発症の 筋痛性脳脊髄炎・慢性疲労症候群 28 症例に対する ビタミン D 補充療養指導の効果

児玉慎一郎、小西菜普子、平井由里子、藤沢明德、中田美津子、手良向聡、福島雅典



医療法人それいゆ会 こだま病院・児玉診療所 理事長
一般社団法人ワクチン問題研究会 業務執行理事

児玉慎一郎

2024年10月4日 第36回 日本神経免疫学会総会（抄録）

<https://jsvrc.jp/241004gakkaihappyo/>



2024年3月28日 厚生労働省記者会見

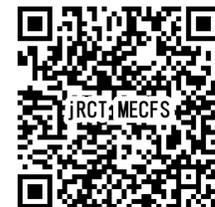
<https://jsvrc.jp/kaiken240328/>



臨床研究の詳細情報(臨床研究等提出・公開システム)



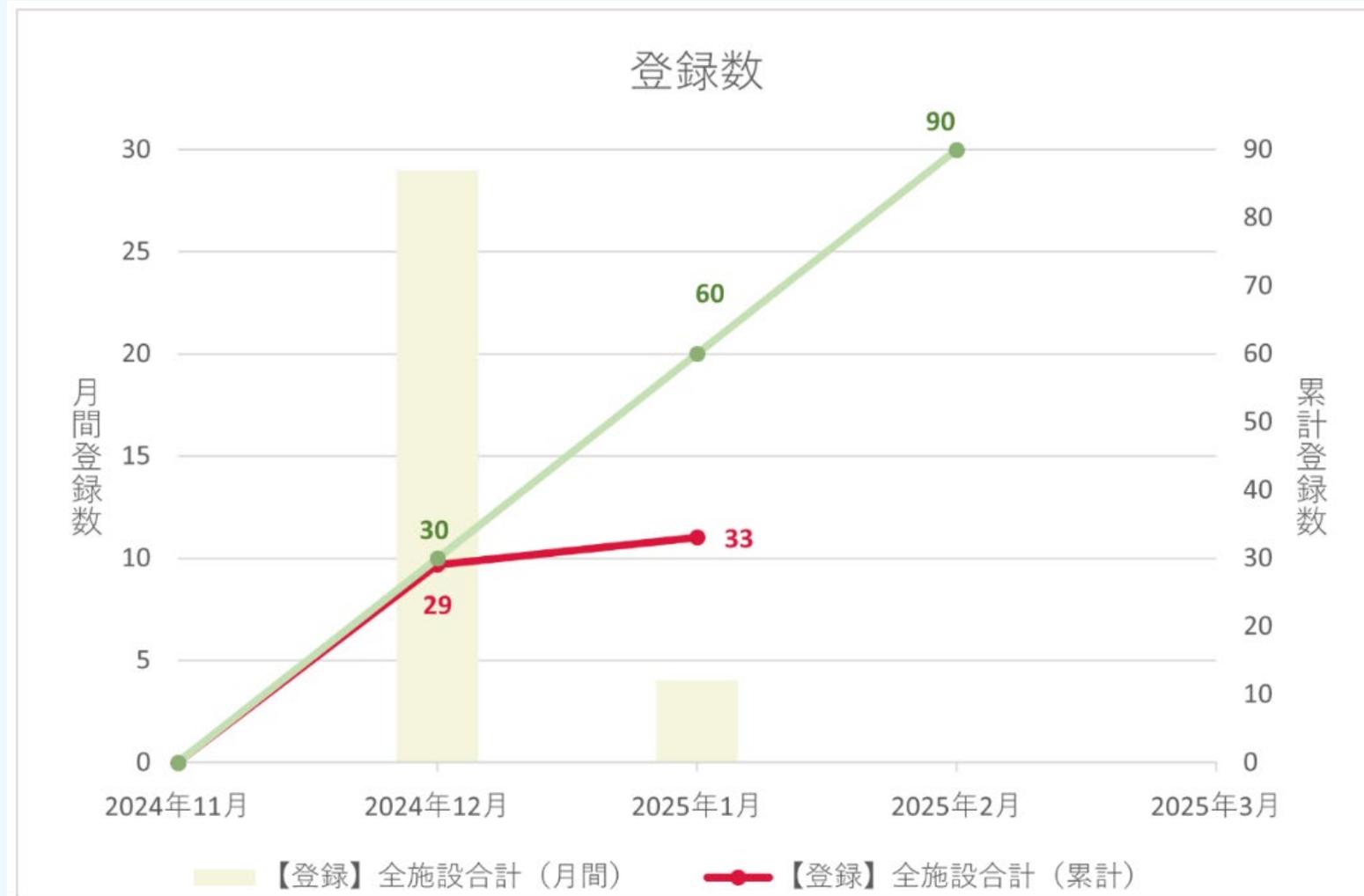
研究の種別	特定臨床研究
初回公表日	令和6年12月2日
最終公表日	令和6年12月11日
中止年月日	
観察期間終了日	
研究名称	新型コロナウイルス感染後急性後遺症もしくはコロナワクチン接種後に発症した筋痛性脳脊髄炎・慢性疲労症候群の症例に対するビタミンD補充療養指導のランダム化比較試験
平易な研究名称	新型コロナウイルス感染後急性後遺症もしくはコロナワクチン接種後に発症した筋痛性脳脊髄炎・慢性疲労症候群の症例に対するビタミンD補充療養指導のランダム化比較試験
研究責任(代表)医師の氏名	吉野 真人
研究責任(代表)医師の所属機関	蒲田よしのクリニック
研究・治験の目的	新型コロナウイルス感染後急性後遺症もしくはコロナワクチン接種後にME/CFSを発症したビタミンD欠乏症患者に対して、医療用ビタミンD療法にビタミンD補充療養指導を上乗せすることによる症状改善効果を検討する。
試験のフェーズ	N/A
対象疾患名	新型コロナウイルス感染後急性後遺症もしくはコロナワクチン接種後に発症した筋痛性脳脊髄炎・慢性疲労症候群
進捗状況	募集中
医薬品等の一般名称	アルファカルシドール、NATUREMADE スーパービタミンD
販売名	ワンアルファ錠、NATUREMADE スーパービタミンD
認定委員会の名称	国立大学法人浜松医科大学臨床研究審査委員会
認定番号	CRB4180008



<https://jrct.niph.go.jp/latest-detail/jRCTs041240135>

臨床研究への症例登録状況

(2025年1月12日現在)



↑ 今回の臨床研究についてHP
からもご覧いただけます



↑ 現在クラウドファンディングを
行っております。
(2025年2月末まで)